

一般財団法人京都ボーイスカウト振興会
平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日）
事業計画

1.はじめに

本年は、京都にボーイスカウトが誕生し100周年を迎えます。

大正4年の大正天皇即位の礼に合わせて、京都市内の各小学校校長が学童1～2名ずつ推薦し、第一期生は101名の団員で、「京都少年義勇軍」として称して、大正4年11月1日に平安神宮で結団式が行われました。

また、第23回世界ジャンボリーが、山口県で世界162の国と地域から約3万人の青少年が集まって、7月28日から約2週間に亘って開催されます。そして世界からやってきたスカウトは、日本各地に分散してホームステイや日本探訪を行います。

この機会を活用し、地域社会の方々に、青少年の健全な育成に繋がるボーイスカウト活動を再認識して頂くため、広報活動を強力に推進する。

京都府民・市民に広く告知するために、2013年から2015年の記念事業の総括（活動の内容・成果などを纏める）を行い、その内容等を京都新聞に一面広告・HP掲載という手段で行う。

当該事業のほか(1)ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業、(2)青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業、(3)指導者養成のためのプログラム企画運営事業(4)国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動のための共催事業、(5)ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業のそれぞれの事業ごとの計画を策定し、実行することによって、京都府下のボーイスカウト運動を振興し、もって、青少年の品性の向上および国際友愛の精神の育成を図っていきたい。

2. 事業計画の内容

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

(ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体

(イ) 助成の趣旨・使途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、世界ジャンボリー・日本ジャンボリー及びベンチャースカウト大会へのスカウト派遣に要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

(ウ) 事業予算

事業費として、2,800 千円を見込む。当該事業費のうち、1,000 千円は100周年事業、500千円は世界スカウトジャンボリーのための助成である。残額1,300千円は、日本ボーイスカウト京都連盟（以下、「京都連盟」という。）の27年度事業費予算のうち、進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッションナー費、イベント費等に必要となる事業費に対して助成する予定である。

(エ) 助成対象者からの助成申請及び実績報告

助成対象者からは書面による助成申請（事業の収支予算及び事業の実施概要）を受け、書面による実績結果（事業の収支決算及び事業の実施状況）を受ける。なお、助成申請及び実績報告は、助成対象者の組織的な機関決定を経たものであることを条件とする。

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

（当法人所有：山林 22,559 平方メートル、原野 521 平方メートル）

(イ) 体験活動の運営主体

京都連盟

(ウ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(エ) 事業予算

事業費として、181 千円（整備委託費 100 千円、減価償却費 81 千円）を見込む。

(オ) 広河原野営場近隣における舎営施設土地建物を取得または賃借を受ける予定である。現在、土地等の取得等に向け、所有者との交渉を継続している。

(3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業

(ア) 趣旨

青少年の育成を指導する人としての素養を涵養するために、企業人、教育者等の有識者を講師に迎え、青少年の育成を指導する立場にある一般の参加者に対して、講演会を実施するものです。

(イ) 講演者

講演者は検討中である。候補者は、国際的なリーダーの育成を指導する有識者を予定している。

- (ウ) 参加者の募集方法
京都連盟及び当法人からのスカウトメンバーの保護者等への案内、ホームページを通じた募集
 - (エ) 開催場所
キャンパスプラザ京都（京都駅前）を予定
 - (オ) 開催日
候補日を検討中
 - (カ) 講演会予算
事業費として、100 千円（講演料 50 千円、会場使用料 50 千円）を見込む。
- (4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業
- (ア) 国際交流・国際貢献活動支援
ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、海外スカウトのホームステイ受入、国際協力プロジェクトの派遣実施等を予定している。
 - (イ) 社会に役立つ事業活動支援
一般青少年を対象にした青少年元気サポート事業（アウトドアチャレンジ）
全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会、視覚障害者マラソン京都大会の沿道整理奉仕
 - (ウ) 環境まち美化活動支援
「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加
- (5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業
- (ア) 地域の不特定多数の青少年に対するボーイスカウト運動の普及宣伝を図る事業として、地方紙企画広告、ホームページを通じて、スカウトの日（ゴミ拾い等の奉仕活動を実施する日）等に地域の青少年の参加を促す。
 - (イ) ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、並びに不特定多数の皆様に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行う。
 - (ウ) ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員及び潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼する。

(工) 事業予算

事業費として、2,000 千円（普及宣伝費(新聞掲載費) 1,500 千円、ホームページ運営改革費 400 千円、通信運搬費 50 千円、印刷製本費 50 千円)を見込む。

(3)財源の確保

平成 27 年度において、引き続き、京都の産業界を中心に維持会員として加わっていただき、21 世紀を担う青少年の健全な育成の場としてのボーイスカウト運動を、地域社会の方々の認識を高めるのにご尽力をいただき、広く財政的援助を頂戴していただけるように努力するとともに、当法人及び京都連盟関係者の方々も振興会維持会員の勧誘活動に一層のご協力をお願いする次第である。

以上